

第3 地域別離島振興事業の実績

(平成25～29年度)

第3 地域別離島振興事業

(平成25～29年度)

1 長島地域

(1) 国土保全施設の整備

ア 砂防

獅子島は、急峻な山を中心に急流で短小な溪流が多く存在し、人家は、これら溪流の開口部のわずかな平地部に点在しており、降雨のたびごとに土石流等の土砂災害の危険にさらされている。

このため、片側川、重崎川で通常砂防事業により砂防堰堤工、溪流保全工等を実施し、土砂災害の未然防止に努めた。

イ 治山

本地域は、地形が極めて急峻で、また、急流で短小な溪流が多く存在している。

このため、山地治山事業等を実施し、山地災害の未然防止と水資源の確保に努めている。

(2) 交通基盤の整備

ア 道路

獅子島、伊唐島には、国道、県道はなく、町道、農道及び林道を生活道路として整備している。

イ 港湾

本地域の港湾は、県管理港湾として獅子島に片側港があり、また、町管理港湾として、御所浦、湯ノ口、立石、柏栗の4地区からなる獅子島港がある。

片側港は、獅子島の中心港であり、平成8年度までの改修、局改事業により定期船接岸のための物揚場、可動橋等を整備し終了した。現在は、施設の維持補修等を進めている。

獅子島港は、漁船対策として改修事業により、防波堤、物揚場、浮棧橋等の整備を進めている。

主な港湾の整備状況

(単位：m)

島名	港湾別	種別 管理者	平成24年度末						平成29年度末					
			岸壁		物揚場		防波堤	接岸能力 及びバース数	岸壁		物揚場		防波堤	接岸能力 及びバース数
			水深	延長	水深	延長			水深	延長	水深	延長		
獅子島	片側	地方 県	-4.5	60	-4.0	119	340	700 D/W 1B	-4.5	60	-4.0	119	340	700 D/W 1B

(3) 産業基盤の整備

ア 漁港

静穏海域が多いことや水温が高いなど恵まれた自然条件下にあるため、養殖業が盛んであるほか、ごち網漁業等の漁船漁業が行われている。

幣串漁港は、獅子島におけるブリ養殖の拠点港及び定期船の寄港港として利用されており、平成26年度に就労環境の改善を図る浮棧橋を整備し、平成27年度からは港内静穏度の向上を図る防波堤の整備を推進している。

漁港施設の老朽化とともに、更新を必要とする施設が増加していることから、平成25年度から防波堤等の保全工事を実施しており、施設の長寿命化対策を推進している。

今後、想定される大規模地震後に漁港機能の早期復旧を図るため、漁港施設の地震・津波に対する安定性を照査する機能診断を行っており、その結果に基づく耐震化工事等を推進していく必要がある。

主要漁港の整備状況

(単位：m, m²)

漁港名	管理者	平成 24 年度 末				平成 29 年度 末			
		けい留施設		泊 地	防波堤	けい留施設		泊 地	防波堤
		水深	延長			水深	延長		
幣 串	県	+1.5	250	11,807	723.6	+1.5	0	11,807	723.6
		-1.5	60			-1.5	310		
		-2.0	520			-2.0	520		
		-3.0	222			-3.0	222		
		-4.0	120			-4.0	120		

イ 漁場

本地域は、マダイやアジなどを対象とするごち網漁業や一本釣漁業等が営まれているが、近年、資源の減少等で漁家経営は厳しい状況が継続している。

このため、水産資源や漁獲量の維持・増大を図るため、沿岸域に828空m³の魚礁を設置し、増殖場の整備を実施した。

ウ 農業農村整備

農業については、獅子島で甘夏みかんを中心とする果実類の生産や温暖な気候を利用した早出しばれいしょの生産が行われているが、農家の経営規模は零細である。

災害を未然に防止するための土砂崩壊防止事業（H26～H28）を実施した。

エ 林道

本地域の林道は、多面的機能を有する森林の適切な整備及び保全はもとより、地域住民の通行や物資の運搬等に必要な地域道路網の一つとして重要役割を担っている。

このため、既設林道の機能向上を図るため、法面改良事業等を実施した。

(4) 離島振興事業による投資実績（一括計上事業）（平成25～29年度）（単位：千円）

区 分	事業費	国 費	県 費	市町村費	その他
砂 防	234,562	115,001	119,561		
治 山	140,497	70,248	70,249		
港 港 海 岸	11,000	6,050		4,950	
漁 港 海 岸	3,740	2,002	1,738		
港 湾	3,291	1,069	2,222		
水産基盤整備	1,016,801	778,080	237,641	1,080	
農業農村整備	56,362	32,540	18,095	5,727	
林 道	141,000	67,320	73,680		
廃棄物処理	11,370	5,506	2,799	3,065	
合 計	1,618,623	1,077,816	525,985	14,822	

(5) 特定離島ふるさとおこし推進事業

本地域における事業の実施状況は、林道整備や特産品販売施設整備、ヒラメ放流等の産業の振興20件、道路整備や港湾施設整備等の生活基盤の整備13件、カヌー大会や婚活パーティ等のみんなの参加・島づくり対策15件となっている。

実績額は次のとおりである。

特定離島ふるさとおこし推進事業による実績額（平成25～29年度）（単位：千円）

区 分	事 業 費	県 費	市 町 村 費	そ の 他
産 業 の 振 興	261,868	180,189	59,312	22,367
生 活 基 盤 の 整 備	116,732	93,385	23,347	0
みんなの参加・島づくり対策	45,898	31,671	13,577	650
合 計	424,498	305,245	96,236	23,017

2 桂島地域

(1) 国土保全施設の整備

ア 治山

本地域は、平坦地がない急峻な地形であるため、山地災害の未然防止を図ることが必要である。
このため、山地治山事業を実施している。

(2) 産業基盤の整備

ア 漁港

桂島漁港では、漁港施設の老朽化とともに更新を必要とする施設が増加していくことから、計画的な長寿命化対策に必要な機能保全計画を策定した。

(3) 離島振興事業による投資実績（一括計上事業）（平成25～29年度）（単位：千円）

区 分	事業費	国 費	県 費	市町村費	その他
治 山	29,730	14,865	14,865		
水産基盤整備	4,560	4,503	57		
合 計	34,290	19,368	14,922		

3 甌島地域

(1) 国土保全施設の整備

ア 河川

本地域の2級河川は、上甌島に中津川と小島川、下甌島に長川と浜田川の4河川があるが、いずれも流路が短く勾配が急なため、短時間に多量の雨が降れば急激に増水氾濫し、度々人家・耕地等に大規模な被害をもたらしてきたため、緊急性の高い箇所から河川改修事業を実施してきた。

2級河川については、平成4年度までに改修を完了している。

市町村が管理する準用河川は、堂ノ元川（里町）、江石川（上甌町）等があり、江石川は平成8年度、堂ノ元川は平成11年度に改修を完了している。

イ 砂防

本地域の山地部は、かなり急峻で、河川は短く、また平地も少ないので土砂災害が発生しやすいため砂防事業が必要である。

そのため、古町川、松崎谷等で総合流域防災事業（砂防）により堰堤工、溪流保全工等を実施し、土砂災害の未然防止に努めた。

ウ 治山

本地域は地形が急峻であるため、山地災害の未然防止を図ることが必要である。

このため、山地治山事業を実施している。

エ 海岸保全

本地域は、特に山が海岸線に迫っているため、ほとんどの集落、耕地は、海岸沿いに点在している。

また、外海に位置し、台風常襲地帯であり、加えて季節風による波浪も激しいことから、海岸保全事業の必要性が高い。

このため、背後地の保全目的に沿って、港湾海岸事業、漁港海岸保全事業を実施している。

港湾海岸事業では、里港海岸において、海岸堤防等老朽化対策緊急事業により、排水機場（改良）を整備中である。

漁港海岸保全事業では、4漁港海岸において海岸保全施設の長寿命化計画を策定し、平成30年度から手打漁港海岸において離岸堤の長寿命化対策を行うこととしている。

(2) 交通基盤の整備

ア 道路

本地域は、上甌島の一般県道桑之浦里港線、上甌島と下甌島を結ぶ一般県道鹿島上甌線、及び下甌島の一般県道手打蘭牟田港線が南北に縦断し、上甌島北部を横断する一般県道瀬上里線、及び下甌島の西岸を走る一般県道長浜手打港線とともに道路網を形成している。

県道については、これまでの整備の結果、改良率は88.3%となっており、これは県全体の県道の改良率82.4%を上回っているが、下甌島の長浜手打港線や上甌島の瀬上里線については未改良区間が残っている。また、上甌島の桑之浦里港線の一部（里港～中甌漁港間）と上甌島から下甌島に至る鹿島上甌線及び下甌島の手打蘭牟田港線の3路線については甌島を縦貫する道路として位置づけている路線であり、下甌島と中甌島を結ぶ蘭牟田瀬戸架橋については、平成18年度に事業化し、現在整備を推進しているところである。

市道については、主な整備路線として、1級市道中甌江石線、その他市道鳥ノ巣線等がある。住民に密接する生活道路として整備を進め、隘路区間の解消を図った。

道路現況（平成28年度末）

（単位：m，％）

区 分	実延長A	規格改良 済延長B	うち		改良率 B/A	5.5m以上 改良率C/A	舗装延長D	舗装率 D/A
			5.5m以上C					
一般県道	65,287	57,661	49,499		88.3	75.8	65,287	100.0
市町村道	144,155	70,033	15,215		48.5	10.5	136,553	94.7
道 路 計	209,442	127,694	64,714		60.9	30.8	201,840	96.3

出典：平成29年度道路現況調書（平成29年4月1日現在）

イ 港湾

甬島地域の港湾は、県管理港湾として上甬島に里港，下甬島に長浜港の2港があり，市管理港湾が上甬島に江石港，桑之浦港の2港がある。

里港は，甬島の玄関港として平成19年度まで改修事業を実施し，東地区において，防波堤の改良，物揚場，泊地を整備し，また，干満の潮位差が大きく陸揚作業が危険であるため，浮桟橋を整備した。現在は，岸壁等の施設の維持補修を進めている。

長浜港は，下甬島の定期船寄港港であり，島内の円滑な物流を図るため，臨港道路を整備した。現在は，夜間停泊基地港として更に船舶の安全な航行の為，防波堤を整備している。

主な港湾の整備状況

（単位：m）

島 名	港湾名	種 別 管理者	平 成 2 4 年 度 末						平 成 2 9 年 度 末					
			岸 壁		物 揚 場		防波堤	接岸能力及び バース数	岸 壁		物 揚 場		防波堤	接岸能力及び バース数
			水深	延長	水深	延長			水深	延長	水深	延長		
上甬島	里	地方 県	-5.5	90	-3.5	180	1,259	2000D/W	-5.5	90	-3.5	180	1,259	2000D/W
			-4.5	135	-3.0	294		1B	-4.5	135	-3.0	294		1B
					-2.0	360		700G/T 2B			-2.0	360		700G/T 2B
下甬島	長 浜	地方 県					1,183	2000D/W 1B					1,183	2000D/W 1B
			-5.5	90	-3.5	55		700D/W	-5.5	90	-3.5	55		700D/W
			-4.5	155	-2.0	444		1B	-4.5	155	-2.0	444		1B
								700G/T 1B						700G/T 1B

(3) 産業基盤の整備

ア 草地開発等

本地域は各島とも地形が急峻で耕地が点在し，台風や冬場の強い季節風の影響を受けやすい条件のなかで，肉用牛や野菜等の経営の他は，さつまいもを組み合わせた自給的な農業経営が行われており，また，気候が温暖で牧草の生育に適し，肉用牛生産が定着している。

平成25年度に，草地開発整備事業（草地林地型）を実施し，草地造成や隔障物等を整備し，自給飼料基盤確保による肉用牛の振興を図った。

イ 造林

本地域の森林面積9,023haのうち、そのほとんどは天然広葉樹林である。

これまでに、森林機能の向上や広葉樹林の有効利用を図る観点から育成複層林整備（複層林改良）を中心に施策を実施し、地域内森林の水源かん養、土砂流出防止等の機能の向上が図られた。

ウ 漁港

甕島周辺海域は、県内でも有数の好漁場を有していることから、水産業が基幹産業となっており、今後とも水産業に依存するところが非常に大きい。

本地域には、上甕島に中甕漁港（4種）、里漁港・小島漁港（いずれも1種）、中甕島に平良漁港（2種）、下甕島に手打漁港（4種）、藺牟田漁港（2種）、青瀬・芦浜・片野浦・瀬々野浦漁港（いずれも1種）の10漁港があり、漁業の拠点として、また、甕島近海で操業中の漁船の避難港として、あるいは定期船寄港港としてそれぞれ重要な役割を果たしており、これらの漁港の積極的な整備を図ってきた。

中甕漁港は、甕島北側の避難港及び定期貨物船の寄港港として利用されており、安全性の高い避難港としての機能充実や蓄養漁業に対応する静穏水域を確保する防波堤整備を平成27年度までに完了し、平成29年度には就労環境の改善を図る浮棧橋の整備を行った。

藺牟田漁港は、沿岸漁業の拠点港及び定期船の寄港港として利用されており、平成29年度までに漁船や定期船における係留時の安全性向上を図る波除堤の整備を完了した。

漁港施設の老朽化とともに、更新を必要とする施設が増加していることから、中甕漁港ほか3漁港で防波堤や岸壁等の保全工事を実施しており、施設の長寿命化対策を推進している。

藺牟田漁港と中甕漁港では、今後、想定される大規模地震後に漁港機能の早期復旧を図るため、漁港施設の地震・津波に対する安定性を照査する機能診断を行っており、その結果に基づく耐震化工事等を推進していく必要がある。

主要漁港の整備状況

(単位：m, m²)

漁港名	管理者	平成 24 年度 末				平成 29 年度 末			
		けい留施設		泊 地	防波堤	けい留施設		泊 地	防波堤
		水深	延長			水深	延長		
小 島	薩摩川内市 (上甕町)	-1.0	55	—	339.4	-1.0	55	—	130
		-2.0	130			-2.0	130		
中 甕	県	-2.0	440	91,351	841.3	-2.0	440	110,632	910
		-3.0	360			-3.0	360		
		-4.5	80			-4.5	80		
平 良	〃	-0.5	57	15,582	494	-0.5	57	82,052	494
		-1.5	120			-1.5	120		
		-2.0	240			-2.0	240		
		-3.0	220			-3.0	209.6		
		-4.0	70			-4.0	70		
		-4.5	160			-4.5	160		
芦 浜	薩摩川内市 (下甕町)	-2.0	75	2,413	227	-2.0	75	2,413	227
青 瀬	〃	-2.0	165	5,619	612.5	-2.0	165	5,619	612.5
		-3.0	95			-3.0	95		
瀬々野浦	〃	-2.0	159.5	4,621	355.5	-2.0	159	4,621	355.5
片野浦	〃	-2.0	180	11,389	340.9	-2.0	180	11,389	340.9
手 打	県	-1.0	385	39,350	1021.3	-1.0	385	94,110	1021.3
		-2.0	271			-2.0	271		
		-3.0	171			-3.0	171		
		-4.5	80.2			-4.5	80.2		
蘭牟田	〃	-1.0	32	9,125	1,481	±0.0	32	9,0313	1,551
		-1.5	150			-1.5	150		
		-2.0	230.3			-2.0	280.3		
		3.0	330			-3.0	330		
		-4.0	50			-4.0	50		
		-4.5	80			-4.5	80		

エ 漁場

本地域は対馬暖流と沿岸水との混合水帯を形成しており、ブリ、アジ等を対象とした定置網漁業をはじめ、キビナゴ流し刺網漁業や一本釣等の漁業が営まれているが、近年、資源の減少等で漁家経営は厳しい状況が継続している。

このため、水産資源や漁獲量の維持・増大を図るため、沿岸域に828空m³の魚礁を設置し増殖場の整備を実施した。

(4) 生活環境施設の整備

ア 簡易水道

本地域では、簡易水道事業の統合に併せ、施設の老朽化に伴う漏水等を解消するため、平成26年度から平成27年度にかけて瀬々野浦地区の老朽施設の更新を、平成26年度から平成29年度にかけて鹿島地区の老朽施設の更新を行った。

イ 下水道

快適な生活環境の確保や公共用水域の水質保全を図るため、上甕町において平成8年度より特定環境保全公共下水道事業に着手。処理場建設・管渠整備を効率的かつ計画的に行い、平成12年度終末処理場（中甕・中野浄化センター）を供用開始し、平成15年度に事業完了した。また、下甕町の長浜地区では、平成29年度から特定環境保全公共下水道事業に着手した。

	処理区域人口 (人)	整備面積 (ha)	備 考
中甕・中野全体計画	760	26.0	
長 浜 全 体 計 画	570	15.0	

(5) 離島振興事業による投資実績（一括計上事業）（平成25～29年度）

（単位：千円）

区 分	事 業 費	国 費	県 費	市町村費	そ の 他
砂 防	685,811	341,061	344,750		
治 山	140,107	70,054	70,053		
港 湾 海 岸	64,700	33,044	26,710	4,946	
漁 港 海 岸	27,061	14,241	12,820		
道 路	16,294,102	10,365,671	5,830,306	98,125	
港 湾	725,519	436,615	249,705	39,199	
水産基盤整備	3,491,883	2,710,661	760,259	20,963	
農業農村整備	55,242	37,788	10,258		7,196
造 林	2,645	793	265	1,587	
下 水 道	81,690	41,215		40,475	
廃棄物処理	5,897	4,239	551	1,107	
簡 易 水 道	163,170	81,585		81,585	
住 宅	23,117	7,633		15,484	
合 計	21,760,944	14,144,600	7,305,677	303,471	7,196

(6) 特定離島ふるさとおこし推進事業

本地域における特定離島ふるさとおこし推進事業の実施状況は、県有牛貸付、林道整備、アロビ稚貝放流、投石による漁場造成、公共用観光施設整備等の産業の振興30件、飲用水施設整備、消防施設整備、教育環境施設整備、医療機器整備、水路整備等の生活基盤の整備29件、交流促進、地域情報発信等の観光物産宣伝対策や、トンボロ芸術村推進事業等のふれあい交流事業、離島留学（ウミネコ留学）等のみんなの参加・島づくり対策32件となっている。

実績額は次のとおりである。

特定離島ふるさとおこし推進事業による実績額（平成25～29年度）（単位：千円）

区 分	事業費	県 費	市 町 村 費	そ の 他
産 業 の 振 興	540,143	415,623	121,644	2,876
生 活 基 盤 の 整 備	658,380	525,065	133,315	0
みんなの参加・島づくり対策	167,959	117,541	50,398	20
合 計	1,366,482	1,058,229	305,357	2,896

4 新島地域

本地域において、平成25年度以降、離島振興事業（一括計上）の実績はない。